

10年後に安心して生活できる町をつくるために

8月19日(金)に「立科町町民の暮らしシンポジウム」を開催しました。

町民や町内で仕事をされている方など60名ほどの方にお集まりいただきました。

内容は、最初に役場町民課高齢者支援係よりこれから10年後に向けての立科町の人口や動向について情報提供をしました。

基調講演では、長野県生活支援コーディネーター養成講師の浦野千絵さんに国や他市町村の動向もふまえて、「地域住民の生活を支えるということを考えてみましょう」という題で、ご講演いただきました。



シンポジウムでは、「立科町での地域支援づくりについて」と題し、シンポジストに米村町長、松本市社会福祉協議会 四賀地区センター課長の山岸 勝子さん、立科町健康サポーター代表の谷脇良一さんをお迎えしました。

町長からは、「つながりをはぐくむ人づくり」「地域福祉活動の充実」「お互いに支え合うための仕組みづくり」「高齢になっても、障がいがあっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまち」についてお話いただきました。山岸さんからは、松本市四賀地区で行われている集いの場や住民同士の支え合い活動について報告がありました。谷脇さんからは、町民として、また健康サポーターとして「町民一人ひとりができることをして地域の方と一緒に支え合って生きていこう」というお話をいただきました。会場からも活発に意見が出ていました。



暮らしやすい町づくりには10年かかると山岸さんもおっしゃっていました。10年後を見据えて、まずは町民の方に地域の現状について知っていただき、町民と関係機関が一緒になって、できることから進めていきたいと思っています。

10月には下記のとおり、立科町地域支援づくり懇話会を開催します。

町民の声をもとに、具体的に支援体制を考えていきたいと思っていますので、大勢の町民の方のご参加をお待ちしております。

立科町地域支援づくり懇話会

日時：11月15日(火) 午後1時30分～3時30分

場所：立科町老人福祉センター集会室

※ご参加される場合は、事前に役場町民課高齢者支援係まで、ご連絡ください

高齢者支援係 電話 56-2311 有線 2311